



避難、救出救助などを話し合い協力体制を築くことが大切です。

(1) 消火・救助はみんなで行う

火災や救助などは発生直後の対応が被害の程度を左右します。大声でみんなに知らせ身近にいる人たちが協力しましょう。

(2) 災害弱者への支援

高齢者や障害者の方には、まわりの支援が必要です。災害発生時には、わが家の安全確認をすませたのち支援にかけつけましょう。

◎地域の防災活動(自主防災組織への参加と活動)

(1) 個人や家庭での対応の限界
災害時には、個人や家庭だけの対応には限界があります。そんな場合、地域の人々の力の結集が必要です。そのために地域のみんな

なで結成された組織が「自主防災会」です。

(2) 自主防災会の仕事

日常は地域の防災啓発活動、防災訓練の開催、地域の安全点検・対策などを行い、災害時には火災の消火、救助・救出・救護活動や避難生活の運用などの仕事を行います。

想定地震に基づく被害予測

蒲郡市に大きな影響を及ぼす地震として、東海地震、東南海地震の発生が懸念されます。

平成13年6月、国の中央防災会議で東海地震の想定震源域が愛知県寄りに見直されました。また、平成13年9月、国の地震調査研究推進本部は、東南海地震が今後30年以内に発生する確立が50%程度と公表しました。そして平成14年4月には、蒲郡市も東海地震の地震防災対策強化地域に指定されました。

こうした中で、本年5月28日、愛知県防災会議地震部会において想定される東海地震など大規模地震の被害予測が公表されました。

蒲郡市の主な被害予測

区 分		東海地震の場合	東南海地震の場合	東海・東南海地震連動の場合
計測震度面積率	5弱以下	14 (%)	0 (%)	0 (%)
	5 強	80	62	41
	6 弱	6	36	57
	6 強	0	1	1
液状化危険度面積率	極めて低い	77 (%)	76 (%)	74 (%)
	低い	6	1	3
	高い	16	12	11
	極めて高い	1	10	12
建物被害	全壊棟数	約90 (棟)	約270 (棟)	約320 (棟)
	半壊棟数	約280	約1,600	約1,900
火 災	出火件数	0 (件)	若干(件)	約10 (件)
	消失棟数	0 (棟)	約10 (棟)	約10 (棟)
人的被害	冬早朝 5時	死者数 若干(人) 負傷者数 約40	約20 (人) 約310	約20 (人) 約390
	春秋昼 12時	死者数 若干(人) 負傷者数 約20	約10 (人) 約190	約10 (人) 約230
	冬夕刻 18時	死者数 若干(人) 負傷者数 約30	約10 (人) 約210	約10 (人) 約260
帰宅困難者	突発時	9,000 (人)	9,000 (人)	9,000 (人)
津波の想定	津波の高さ(m)	1.5~2.1	1.6~2.2以上	1.9~2.2以上
	津波の到達時間(分)	50~90	50~90	50~90
	浸水区域および浸水深さ	形原漁港付近 0~2m	形原漁港付近 0~2m、一部地域で2m以上	形原漁港付近 1~2m、一部地域で2m以上

◎蒲郡市内地域別震度予測

(1) 市内を500mメッシュに表した震度予測情報を、蒲郡市のホームページで検索できます。

URL

<http://www.city.ganagori.aichi.jp/p/soumu/anzen/sinai%20sindo.html>

(2) 岐阜大学のホームページでは、郵便番号または町名を入力することで震度予測情報が検索できます。

URL

<http://www.cive.gifu-u.ac.jp/lab/ed2/kenzaku/>